

子どもの環境づくり推進計画（第三期）進行管理シート（資料1掲載事業より主な事業を抜粋）

資料2

担当課	番号	事業名	H26計画	H26実施状況	H27計画	H26	H27	H28	H29	目標数値または 目指すべき姿(H29)
生涯学習課	1734	環境学習推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ○高知体験学習ガイドHPIによる自然体験活動等の情報提供の実施 ○指導者養成研修等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・自然体験リーダー 22.5時間×1回 ・自然体験インストラクター 22.5時間×1回 	<ul style="list-style-type: none"> ○高知体験学習ガイドHPIによる自然体験活動等の情報提供(イベント情報等随時追加掲載)イベント数150件掲載 ○指導者養成研修等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・自然体験リーダー 1名 ・自然体験インストラクター 1名 ○体験活動推進のための講師の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ○高知体験学習ガイドHPIによる自然体験活動等の情報提供 ○指導者養成研修等 			<p>取組の継続</p> <p>取組の継続</p>	<p>○県民に対して様々な自然体験活動等の情報提供を行うことにより、県民が身近な場所や興味関心のある活動への参加ができる。</p> <p>○自然体験活動の指導者が養成されることにより、安全に配慮された様々な体験活動に県民が参加することができる。</p>	
新エネルギー推進課	42740	環境活動支援センター事業	<ul style="list-style-type: none"> ○環境学習教材等の貸出(100回/年以上) ○環境学習講師の派遣(30名/年) ○環境絵日記コンテストの開催(応募作品数:500作品) ○環境学習講師の活動支援 ・ナニコレ博物館の開催(2回/年以上) ○子どもエコクラブ活動支援(交流会開催1回) ○学校でのフューチャー・フューチャー事業(参加校30校) 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境学習教材等貸出回数:78回 ○環境学習講師派遣人数:79名 ○環境絵日記コンテストの開催(応募作品数:1,851作品) ○子どもエコクラブ活動支援(交流会開催1回) ○学校でのフューチャー・フューチャー事業(参加校28校) 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境学習講師の派遣 ○環境絵日記コンテストの開催 ○体験型学習イベント(スタンプラリー)の実施 ○学校移動博物館(3回/年) ○子どもエコクラブ活動支援(交流会開催1回) 	<p>・環境活動等に関する情報提供</p>			<p>○地域・学校において、環境学習・自然体験等の機会が増加することにより、地域や地球環境への理解が深まる。</p>	
文化推進課	1262	県立歴史民俗資料館(教育普及(学校教育)事業)	<ul style="list-style-type: none"> ○ワクワワーク(子ども歴史教室) 3回 ○派遣授業 8回 ○借り上げバス授業 2回 ○体験学習 15校 ○解説授業 30校 ○職場体験 2校 	<ul style="list-style-type: none"> ○ワクワワーク(子ども歴史教室) 9回(うち1回は美術館で開催)参加者のべ300人 ○派遣授業 6回 181人 ○借り上げバス授業 1回(三原小中学校) ○体験学習 16校 ○解説授業 43件 ○職場体験 中学校3校 	<ul style="list-style-type: none"> ○派遣授業 ○体験学習 ○バス借り上げ来館授業 ○共同研究授業 ○授業応援教材の開発 ○職場体験 	<p>事業の継続</p>			<p>○子どもたちの歴史や文化に触れる機会を充実させる。</p>	
文化推進課	1322	県立美術館(教育普及事業)	<ul style="list-style-type: none"> ○出前びじゅつ講座 ○出前クラシック教室 ○アートスクールバス 	<ul style="list-style-type: none"> ○出前びじゅつ講座 5回 ○出前クラシック教室 11回 ○アートスクールバス 35校 	<ul style="list-style-type: none"> ○レクチャー講座 ○ワークショップ ○出前びじゅつ講座 ○なつやすみプロジェクト ○ミュージアムスクール事業 	<p>事業の継続</p>			<p>○子どもたちの芸術や文化に触れる機会を充実させる。</p>	
生涯学習課	1575	学校支援地域本部等事業	<ul style="list-style-type: none"> ○学校支援地域本部実施への支援 <ul style="list-style-type: none"> (1)運営補助 18市町村 33支援本部 ・活動内容の企画・運営等への支援 (2)モデル事例の紹介 (3)事業実施市町村の訪問 9月 ・市町村運営委員会への支援 ・事業効果、課題の検証 11月 (4)未実施市町村の訪問 9月 ・事業のしくみ、効果の啓発 (5)活動内容の充実と人材育成(放課後支援、家庭教育支援合同) ・推進委員会 2回 ・コーディネーター等研修 2回 ・成果発表会 1回 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校支援地域本部実施への支援 <ul style="list-style-type: none"> (1)運営補助 19市町村 35支援本部 ・活動内容の企画・運営等への支援 (2)モデル事例の紹介 (3)事業実施市町村の訪問 9月 ・市町村運営委員会への支援 ・事業効果、課題の検証 11月 (4)未実施市町村の訪問 9月、2月 ・事業のしくみ、効果の啓発 (5)活動内容の充実と人材育成(放課後支援、家庭教育支援合同) ・推進委員会 2回 ・コーディネーター等研修 2回 ・成果発表会 1回 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校支援地域本部実施への支援 <ul style="list-style-type: none"> (1)運営補助 22市町村 40支援本部 ・活動内容の企画・運営等への支援 (2)モデル事例の紹介 (3)事業実施市町村の訪問 9月 ・市町村運営委員会への支援 ・事業効果、課題の検証 9月 (4)未実施市町村の訪問 4~5月、9月 ・事業のしくみ、効果の啓発 (5)活動内容の充実と人材育成(放課後支援、家庭教育支援合同) ・推進委員会 2回 ・コーディネーター等研修 2回 ・成果発表会 1回 (6)学校地域連携推進担当指導主事の配置 4名 			<p>取組の継続</p> <p>取組の継続</p>	<p>改善・充実</p> <p>改善・充実</p>	<p>○全ての市町村において、学校や地域の実情に応じて、地域社会全体で学校教育を支援する仕組みを構築する。</p> <p>※本事業の実施・未実施を問わず、全市町村で地域の実情に応じた組織的な学校支援の仕組みづくりを推進する。</p> <p>○各学校支援地域本部における活動を充実させる。</p>

子どもの環境づくり推進計画（第三期）進行管理シート（資料1掲載事業より主な事業を抜粋）

資料2

担当課	番号	事業名	H26計画	H26実施状況	H27計画	H26	H27	H28	H29	目標数値または 目指すべき姿 (H29)	
生涯学習課	17 35 136	青少年教育施設振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ○事業計画に基づく主催事業の計画的な実施 ○不登校対策に特化した事業の実施 ○新規プログラムの開発、既存プログラムの見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ○主催事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・各施設において主催事業を実施(樟多青少年の家、青少年センター、香北青少年の家、遠見記念青少年プラザ、高知青少年の家、青少年体育館) ・中1学級づくり合宿事業 ・青少年センター 10校参加 ・樟多青少年の家 20校参加 ・不登校対策事業 ・青少年センター <ul style="list-style-type: none"> 5回実施 延べ参加者30名 樟多青少年の家 8回実施 延べ参加者28名 ○新規プログラム、既存プログラムの見直し実施 <ul style="list-style-type: none"> ・H26新規 青少年センター 4プログラム ・H26見直し 青少年センター 3プログラム、樟多青少年の家 1プログラム ○次年度のプログラム見直しに向けた取組 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業計画に基づく主催事業の計画的な実施 ○不登校対策に特化した事業の実施 ○新規プログラムの開発、既存プログラムの見直し 	<p>通年</p> <ul style="list-style-type: none"> 中1学級づくり合宿の実施・参加校の拡大 主催事業等による多様な体験活動等の提供と社会教育のあり方の啓発 参加生徒・教諭に対するアンケート実施及び評価 	<p>7,8月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況 青少年教育施設運営 ・考える 青少年教育施設運営 ・評価 青少年教育施設運営 <p>8,9月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見直し 次年度のプログラムの開発、 ・検討 次年度のプログラムの開発、 	<p>7,8月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況 青少年教育施設運営 ・考える 青少年教育施設運営 ・評価 青少年教育施設運営 <p>8,9月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見直し 次年度のプログラムの開発、 ・検討 次年度のプログラムの開発、 	改善・充実	改善・充実	<ul style="list-style-type: none"> ○自然体験学習や集団宿泊訓練学習等を通して、青少年に新たな「出会い」、「感動」を与える。 ○家庭や学校では経験しにくい規律、協働、友愛、奉仕を学び、青少年の健全な育成につなげる。 ○多様な体験活動や学習活動を通じ、青少年の自主性、社会性、協調性が育まれる。
まんが・コンテンツ課	23 43	「まんが教室」開催事業	<ul style="list-style-type: none"> ○県内の小中学生(ただし、高知市、南国市、香南市、香美市を除く)を対象としたまんが教室の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施要領制定 ・18回実施 ・参加した生徒数335名 	<ul style="list-style-type: none"> ○県内の小中学生(ただし、高知市、南国市、香南市、香美市を除く)を対象としたまんが教室の実施 	<p>2年間の実施状況を踏まえ、事業の継続や市町村事業への移行等を検討</p>				<ul style="list-style-type: none"> ○まんがを通して、子どもたちの表現力や発想力を高めることができる。また、漫画家という職業を知るキャリア教育の機会ともなっている。 	
環境共生課	28 41	牧野植物園管理運営費(教育普及事業)	<ul style="list-style-type: none"> ○押花教室(3回) ○ふれあい植物観察会(22回) ○子ども自然体験教室(7回) ○夏休みイベント 「食虫植物とアリ植物展」 「オオオニバスにのろう！」 「夜の植物園」 ○教育プログラム 	<ul style="list-style-type: none"> ○押花教室(6回) ○ふれあい植物観察会(21回) ○子ども自然体験教室(7回) ○夏休みイベント等 「食虫植物とアリ植物展」 「オオオニバスにのろう！」 「夜の植物園」 「ねじってのばして輪ゴム工作」 「ラテックスからスーパーボール作り」 ○教育プログラム ○企画展「植物園がはぐくむ生き物」 ○植物採集と標本作り ○植物園で昆虫を撮ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ○押花教室(4回) ○ふれあい植物観察会(21回) ○子ども自然体験教室(7回) ○夏休みイベント等 「食虫植物とアリ植物展」 「オオオニバスにのろう！」 「夜の植物園」 「企画展 恐竜時代の植物たち」 ○教育プログラム ○葉脈標本としおり作り 	<p>通年</p> <ul style="list-style-type: none"> ふれあい植物観察会の開催 子ども自然体験教室の実施 教育プログラム、職場体験の提供 	<p>4~8月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「植物園がはぐくむ生き物」 ・植物採集と標本作り ・植物園で昆虫を撮ろう <p>7,8月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜の植物園 ・オオオニバスにのろう！ ・食虫植物とアリ植物展 ・植物園で昆虫を撮ろう <p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねじってのばして輪ゴム工作 <p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラテックスからスーパーボール作り 	<p>7,8月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜の植物園 ・オオオニバスにのろう！ ・食虫植物とアリ植物展 ・葉脈標本としおり作り <p>8~1月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「恐竜時代の植物たち」 	指定管理期間がH27年度までのため未定	同左	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の利用の増加。
小中学校課	33 95	教育文化祭	<ul style="list-style-type: none"> ○教育文化祭行事の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・科学 理科 ・音楽(吹奏楽・唱歌・器楽) ・連合音楽会 ・作品展 ・英語弁論・体験発表 ・作文・読書感想文・読書感想文 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育文化祭行事の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・開幕式(8/21) ・科学(11/1)・理科(10/26)研究発表会 ・吹奏楽コンクール(7/25~27) ・器楽コンクール(8/17、11/23、12/26) ・唱歌コンクール(8/21、9/7) ・高知県吹奏楽祭り(10/19) ・発明くふう展(11/21~23) ・英語弁論大会(10/5、10/26、11/2) ・作文コンクール(11/3) ・美術教育総合展(2/18~21) ・読書感想文コンクール(2/21) ・読書感想文コンクール(1/19) ・小砂丘賞(1/24) ・こども県展(3/3~8) ・特別支援学校児童生徒作品展(11/28~11/30) ・生活体験発表会(10/16) ・音楽会(8/21、11/7、11/14、11/15) 参加者総数:のべ207,390人 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育文化祭行事の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・科学 理科 ・音楽(吹奏楽・唱歌・器楽) ・連合音楽会 ・作品展 ・英語弁論・体験発表 ・作文・読書感想文・読書感想文 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の内容の充実 				<ul style="list-style-type: none"> ○県民を巻きこんでの参加者数の拡大 参加者総数約22万人(H27末) 	

子どもの環境づくり推進計画（第三期）進行管理シート（資料1掲載事業より主な事業を抜粋）

資料2

担当課	番号	事業名	H26計画	H26実施状況	H27計画	H26	H27	H28	H29	目標数値または 目指すべき姿 (H29)
まんが・コン テンツ課	42 58 89 92	まんが甲子園開催事業	○まんが甲子園の開催 ○出版社への参加依頼 ○スカウトシップ育成プログラムの実施	・まんが甲子園の開催 H26.8.2～8.3 会場:かるぼーと 本選参加校:30校139名 ※さらに、韓国から1校3名がオ ープン参加。 (予選応募校:342校) ・まんが甲子園当日の出版社参加: 4社20誌 ・33名のスカウトがあり、その後出 版社が育成プログラムに沿って指 導を行い、9名に育成継続の声がか かった。	○まんが甲子園の開催 ○出版社への参加依頼 ○スカウトシップ育成プログラムの 実施	まんが甲子園でのスカウトシップ育成プログラムの実施				○将来漫画家を目指す高校生が、 まんが甲子園を夢を実現するステッ プとしてチャンスを得られる場とす る。 また、職業としての漫画家を目指す 以外にも、まんが甲子園に参加する ことで、社会に目を向け、発想を豊 かにすることやチームワークの重要 性を学ぶ機会とする。
高等学校課	48 61	21ハイスクールプラン推進費 高校生の志を応援する事業	各高校において、授業や特別活動 に位置付けて計画している。 ○地域でのボランティア活動の実 施 ○国際交流活動の推進 ○ものづくり、資格取得の推進 ○防災教育の推進 ○伝統文化の伝承活動の実施 ○販売市の開催 ○生徒支援の推進 ○学校広報誌・通信の発行 ○人権教育の推進 ○環境教育の推進 など	各高校において、年間計画に基づ いて実施した。	各高校において、授業や特別活動 に位置付けて計画している。 ○地域でのボランティア活動の実 施 ○国際交流活動の推進 ○ものづくり、資格取得の推進 ○防災教育の推進 ○伝統文化の伝承活動の実施 ○販売市の開催 ○生徒支援の推進 ○学校広報誌・通信の発行 ○人権教育の推進 ○環境教育の推進 など	・資格取得を充実させ、生徒の進路実現を図 る。			○生徒が充実した高校生活を送る ことで、生徒や保護者の学校への満 足度が向上し、県民に信頼される学 校づくりが推進できている。 ○地元高校の教育活動への理解が 深まり、志願者の増加につながって いる。 ○資格取得を推進することにより、 就職内定率の向上につながっている。	
幼保支援課	65 84	親育ち支援推進事業	○親育ち支援啓発 ○親育ち支援保育者育成 ○親育ち支援保育者フォローアップ 研修 ○保護者の一日保育者体験推進	○保護者研修・保育者研修の実施 108回 82園 ○親育ち支援保育者育成研修会 3年次研修:11/25, 11/28, 12/3 ○親育ち支援保育者フォローアップ 研修 親育ち支援スキルアップ講座 :5/30, 8/30, 9/10 親育ち支援保育者実践交流会 :11/11, 12/6, 1/17 ○保護者の一日保育者体験 7園	○親育ち支援啓発 ○親育ち支援保育者フォローアップ 研修 ○保護者の一日保育者体験推進	保護者研修・保育者研修 親育ち支援保育者育成研修会 親育ち支援保育者フォローアップ研修 保護者の一日保育者体験			○良好な親子関係や子どもへのか かり方について保護者の理解が 深まり、積極的に子どもにかかわ る姿が多くなる。 ○多くの園で、研修修了者が中核と なり、保護者への支援が進む。 ○保護者と保育者との相互理解が 進むことで、共に子育てを考えるよ うになり、保護者が積極的に子ども にかかわる姿が多くなる。	
生涯学習課	66 157 161	家庭教育支援基盤形成事業	○家庭教育基盤形成事業の実施 ・実施市町村数:15 ・事業内容:家庭の教育力向上に 関する各種講座・講演の開催 絵本の読み聞かせ 生活習慣づくり講座 子育て講座、食育講座 親子コミュニケーション講座 親子スポーツ教室 親子参加行事 家庭教育講演会等 ○「早ね早おき朝ごはん」県民運動 の推進 ・「よさこい健康プラン21」と連携し た取組の推進 ・リーフレット、生活リズムチェック カードの配布 ・イメージキャラクター啓発資材の 貸出	○家庭教育基盤形成事業の実施 ・実施市町村数:13 ・事業内容:家庭の教育力向上に 関する各種講座・講演の開催 絵本の読み聞かせ 生活習慣づくり講座 子育て講座、食育講座 親子コミュニケーション講座 親子スポーツ教室 親子参加行事 家庭教育講演会等 ○「早ね早おき朝ごはん」県民運動 の推進 ・「よさこい健康プラン21」と連携し た取組の推進 ・リーフレット、生活リズムチェック カードの配布 ・イメージキャラクター啓発資材の 貸出 貸出件数:20件	○家庭教育基盤形成事業の実施 ・実施市町村数:13 ・事業内容:家庭の教育力向上に 関する各種講座・講演の開催 絵本の読み聞かせ 生活習慣づくり講座 子育て講座、食育講座 親子コミュニケーション講座 親子スポーツ教室 親子参加行事 家庭教育講演会等 ○「早ね早おき朝ごはん」県民運動 の養成 ・「よさこい健康プラン21」と連携し た取組の推進 ・リーフレット、生活リズムチェック カードの配布 ・イメージキャラクター啓発資材の 貸出	地域による教育支援活動推進委員会 5月 ⑤年間事業計画 8 ・市町村訪問による 方向性の共有 ⑤実績報告 2月 ⑥事業総括 ⑦計画(予算・方向性)	地域による教育支援活動推進委員 5月 ⑦年間事業計画 8 ・市町村訪問による 方向性の共有 ⑥実績報告 2月 ⑦事業総括 ⑧計画(予算・方向性)	地域による教育支援活動推進委員 5月 ⑦年間事業計画 8 ・市町村訪問による 方向性の共有 ⑥実績報告 2月 ⑦事業総括 ⑧計画(予算・方向性)	取組の継続 改善・充実	○親への学習機会の提供や相談対 応などの家庭教育支援等、様々な 教育支援活動がより充実している。

子どもの環境づくり推進計画（第三期）進行管理シート（資料1掲載事業より主な事業を抜粋）

資料2

担当課	番号	事業名	H26計画	H26実施状況	H27計画	H26	H27	H28	H29	目標数値または目指すべき姿(H29)
少子対策課	68 86	「こうちプレマnet」運営委託事業	○こうちプレマネットによる情報の提供、相談	○こうちプレマネットによる情報の提供、相談	○こうちプレマネットによる情報の提供、相談	情報提供や相談				○子育て家庭に役立つ情報がより充実して提供され、行き届いている。
人権課	111 114	人権啓発研修事業	○「じんけんフェスタ」、映画放映、テレビミニ番組、テレビスポットコマercialの放送、ハートフルセミナー、コラム掲載、スポーツ組織と連携協力した啓発活動、講師派遣等の実施	○「じんけんフェスタ」12/7 ○人権啓発映画のテレビ放映 2回 (6/22, 11/15) ○テレビミニ番組の制作・放送 6回 (うち子どもの人権 1回) ○テレビスポットコマercialの放送 こどもの人権: 11月 ○ハートフルセミナー: 6~11月 ○高知新聞コラム掲載: 8月~12月 ○スポーツ組織と連携協力した啓発活動 (9/12, 11/1) ○講師派遣 研修回数: 154回	○「じんけんフェスタ」、映画放映、テレビミニ番組、テレビスポットコマercialの放送、ハートフルセミナー、コラム掲載、スポーツ組織と連携協力した啓発活動、講師派遣等の実施	県民への啓発・研修の実施				○人権研修や啓発により、子どもの人権について子どもも大人も理解が進んでいる。
人権教育課	117 135	子どもの命と心を守り育てる学校支援事業	○公立学校において、児童生徒の生命に関わる事案や学校が対応に苦慮している事案が発生した場合に、緊急学校支援チームを派遣する	○児童生徒の生命に関わる事案や対応に苦慮している事案が発生した場合に、緊急学校支援チームを派遣し、学校が適切な対応が取れるように支援を行った。 ・派遣回数27回、180時間	○公立学校において、児童生徒の生命に関わる事案や学校が対応に苦慮している事案が発生した場合に、緊急学校支援チームを派遣する。 ・対応する問題に合わせて、派遣する委員をコーディネートする。 ・次期委員候補の臨床心理士を同行させ、学校への支援の入り方、助言の仕方等、を学べる機会を設定する。		学校が苦慮している事案に対して、緊急支援チームを派遣			○緊急事案に対応できる学校の組織体制が確立している。
人権教育課	124 132 141	スクールカウンセラー等活用事業	○246校(小学校113校、中学校107校、高校13校、特別支援学校13校)に配置 ○スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー合同研修会の開催 ○スクールカウンセラー等連絡協議会の開催 ○スクールカウンセラー等研修講座の開催(年間6回)	○246校(小学校113校、中学校107校、高校13校、特別支援学校13校)に配置 ○スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー合同研修会の開催(7/18) ○スクールカウンセラー等連絡協議会の開催(6/6) ○スクールカウンセラー等研修講座の開催(年間6回 6/29, 7/6, 10/19, 11/30, 12/21, 1/25)	○255校(小学校135校、中学校107校、高校10校、特別支援学校3校)に配置 ○スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー合同研修会の開催 ○スクールカウンセラー等連絡協議会の開催 ○スクールカウンセラー等研修講座の開催(年間6回)	スクールカウンセラーの配置拡充及び人材の確保	スクールカウンセラーの専門性の向上及び学校・スクールソーシャルワーカー等との連携強化	スクールカウンセラー等による教職員向けカウンセリングマインドを高める研修等の実施		○児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査において、児童生徒の不登校、暴力行為、中途退学の状況を全国平均まで改善する。 ○各学校において予防と対処の両面から生徒指導に組織的に取り組む体制が強化されている。 ○高知県内公立中学校100%配置。 ○高知県内公立小学校70%配置。 ○各学校の教職員のカウンセリングマインドが高まっている。
人権教育課	125 133 142	心の教育アドバイザー等活用事業	○24校(高校24校)に配置 ○スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー合同研修会の開催(7/18) ○スクールカウンセラー等連絡協議会の開催(6/6) ○スクールカウンセラー等研修講座の開催(年間6回 6/29, 7/6, 10/19, 11/30, 12/21, 1/25)	○24校(高校24校)に配置 ○スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー合同研修会の開催(7/18) ○スクールカウンセラー等連絡協議会の開催(6/6) ○スクールカウンセラー等研修講座の開催(年間6回 6/29, 7/6, 10/19, 11/30, 12/21, 1/25)	○38校(高校27校、特別支援学校11校)に配置 ○スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー合同研修会の開催 ○スクールカウンセラー等連絡協議会の開催 ○スクールカウンセラー等研修講座の開催(年間6回)	心の教育アドバイザーの配置拡充及び人材の確保	心の教育アドバイザーの専門性の向上及び学校・スクールソーシャルワーカー等との連携強化	心の教育アドバイザー等による教職員向けカウンセリングマインドを高める研修等の実施		○児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査において、児童生徒の不登校、暴力行為、中途退学の状況を全国平均まで改善する。 ○各学校において予防と対処の両面から生徒指導に組織的に取り組む体制が強化されている。 ○高知県内高等、特別支援学校100%配置。 ○各学校の教職員のカウンセリングマインドが高まっている。

子どもの環境づくり推進計画（第三期）進行管理シート（資料1掲載事業より主な事業を抜粋）

資料2

担当課	番号	事業名	H26計画	H26実施状況	H27計画	H26	H27	H28	H29	目標数値または 目指すべき姿 (H29)
人権教育課	126 134 143	スクールソーシャルワーカー活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ○25市町村(42人)及び3県立中学校に配置 ○スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー合同研修会の開催 ○スクールソーシャルワーカー連絡協議会の開催 ○スクールソーシャルワーカーブロック別研修会の開催(3ブロック) ○スーパーバイザーによるスクールソーシャルワーカーへの指導・助言(適宜) 	<ul style="list-style-type: none"> ○25市町村(42人)及び3県立中学校に配置 ○スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー合同研修会の開催(7/18) ○スクールソーシャルワーカー連絡協議会の開催(6/13) ○スクールソーシャルワーカーブロック別研修会の開催(9/16 9/17 9/18) ○スーパーバイザーによるスクールソーシャルワーカーへの指導・助言(必要に応じて適宜実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ○27市町村(60人)、うち県単配置15人 ○県立学校9校(中高一貫3校、高校5校、特別支援学校1校) ○スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー合同研修会の開催 ○スクールソーシャルワーカー連絡協議会の開催 ○スクールソーシャルワーカーブロック別研修会の開催(3ブロック) ○スーパーバイザーによるスクールソーシャルワーカーへの指導・助言(適宜) 		<p>スクールソーシャルワーカーの配置拡充及び人材の確保</p> <p>スクールソーシャルワーカーの専門性の向上及び学校・スクールカウンセラー等との連携強化</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査において、児童生徒の不登校、暴力行為の状況を全国平均まで改善する。 ○各学校において予防と対処の両面から生徒指導に組織的に取り組む体制が強化されている。 ○配置する市町村を拡げ、配置人数を増員させる。県立中学校では配置を継続する。厳しい状況にある高校、特別支援学校へ再配備する。 	
人権教育課	128 144 146	心の教育センター相談事業	<ul style="list-style-type: none"> ○相談チラシ、電話相談カード(小1～高3)を配付、広報活動の拡充 ○来所相談、出張教育相談の実施 ○24時間電話相談 ○メール相談の実施 ○保護者の交流の場(やまももの会)年間10回の実施 ○子育て講演会の実施(年2回) ○不登校児童生徒を大学生が訪問するスマイルふれんど制度の実施 ○教育支援センター連絡協議会(年3回)の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校や地域に相談チラシを配付するとともに、広報誌などさまざまな媒体を活用した広報活動の拡充 ○電話相談カード84,500枚。5月上旬配付 ○来所、出張教育相談 延1,886件 ○24時間電話相談 810件 ○メール相談 318件 ○やまももの会 10回開催 ○子育て講演会の年間2回実施(参加者延べ142名) ○教育支援センター連絡協議会 3回開催(延べ75名参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ○相談チラシ、電話相談カード(小1～高3)を配付、広報活動の拡充 ○来所相談、出張教育相談の実施 ○24時間電話相談 ○メール相談の実施 ○保護者の交流の場(やまももの会)年間10回の実施 ○子育て講演会の実施(年2回) ○不登校児童生徒を大学生が訪問するスマイルふれんど制度の実施 ○教育支援センター連絡協議会(年3回)の実施 		<p>・教育相談活動の充実</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○教育相談体制の充実を図るとともに、広報活動を進めることにより、高等学校を中心に相談件数が増加している。その中で、学校復帰率が上昇するとともに、進路保障や社会的自立が進んでいる。 	
障害保健福祉課	129 147	ひきこもり地域支援センター事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ひきこもり地域支援センターを中心とした相談機関のネットワークの構築・強化 (1)関係機関連絡会議の開催 (2)若者サポートステーションとの情報交換会(勉強会・事例検討会含む)の開催 (3)市町村のケース会議への技術支援・援助(いの町 毎月1回、須崎市 年6回、幡多地域 年5回) (4)センターにおける相談支援の充実 ○人材育成 (1)市町村の保健師や教育支援センター職員等を対象とした人材養成研修等を実施 ○居場所づくり (1)家族サロンや青年期の集いの開催 (2)隣域ごとの集いの場(居場所・交流の場)の開設への支援(いの町、黒潮町、四万十市+1か所) ○個別支援の充実 (1)訪問支援による本人及び家族の支援や事例検討会の開催 (2)SST(全5回)、WRAP(全5回)による訓練の実施 ○普及啓発の促進 (1)啓発用パンフレットの配布 (2)ひきこもり普及啓発地域研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○ひきこもり地域支援センターを中心とした相談機関のネットワークの構築・強化 (1)関係機関連絡会議の開催(6月・10月・2月) (2)若者サポートステーションとの情報交換会(勉強会・事例検討会含む)の開催(6回) (3)市町村のケース会議への技術支援・援助(いの町 10回、須崎市 8回、幡多 5回) (4)センターにおける相談支援の充実(相談実績:電話95件、来所752件、計847件) ○人材育成 (1)市町村による温度差はあるが、個別支援に向けた体制が整いつつある。 ・新規来所相談者が半数(異動ベース)を占めるなど、徐々に広がりをみせている。 ○人材育成 (1)市町村の保健師や教育支援センター職員等を対象とした人材養成研修等を実施(4回) ○居場所づくり (1)家族サロンや青年期の集いの開催 ・家族サロン 毎週火曜日 ・青年期の集い 毎週水曜+第2・第4金曜日の月6回開催 (2)隣域ごとの集いの場(居場所・交流の場)の開設への支援(いの町、黒潮町、四万十市、宿毛市) ○個別支援の充実 (1)訪問支援による本人及び家族の支援や事例検討会の開催 (2)SST(全5回)、WRAP(全5回)による訓練の実施 ○普及啓発の促進 (1)啓発用パンフレットの配布 (2)ひきこもり普及啓発地域研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○ひきこもり地域支援センターを中心とした相談機関のネットワークの構築・強化 (1)関係機関連絡会議の開催(年3回) (2)若者サポートステーションとの情報交換会(勉強会・事例検討会含む)の開催(年8回) (3)市町村のケース会議への技術支援・援助(いの町 年10回、須崎市 年6回、幡多 年5回) (4)センターにおける相談支援の充実 ○人材育成 (1)市町村の保健師や教育支援センター職員等を対象とした人材養成研修等を実施 ○居場所づくり (1)家族サロンや青年期の集いの開催 (2)隣域ごとの集いの場(居場所・交流の場)の開設への支援(2ヶ所) ○個別支援の充実 (1)訪問支援による本人及び家族の支援や事例検討会の開催 (2)社会体験活動、WRAP(全5回)による訓練の実施 ○普及啓発の促進 (1)啓発用パンフレットの配布 (2)ひきこもり普及啓発地域研修会の開催 		<p>継続した取り組み</p> <p>(小規模作業所) 園域ごとの開設に向けた支援。本人の居場所・交流の場を身近な場所につくる。 目標:平成27年度末までに5箇所 現在:作業所2ヶ所(いの町、黒潮町) 居場所1ヶ所(四万十市)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ひきこもり状態にある人や家族を支援する体制が強化され、身近な地域で適切な支援先や医療機関の受診が可能になることで、早期のひきこもり状態にある人の社会参加や自立につながっている。 	

子どもの環境づくり推進計画（第三期）進行管理シート（資料1掲載事業より主な事業を抜粋）

資料2

担当課	番号	事業名	H26計画	H26実施状況	H27計画	H26	H27	H28	H29	目標数値または目指すべき姿(H29)
人権教育課	131 137 148	生徒指導推進事業	<p>生徒指導推進事業による生徒指導推進協力員・学校相談員(9市町に9名)、生徒指導スーパーバイザー(高知市に6名)を学校へ派遣。</p> <p>○進捗状況の確認(9市町、高知市)</p> <p>○生徒指導スーパーバイザー定例会を実施(高知市)</p> <p>○生徒指導推進協力員・学校相談員連絡協議会を実施(9月下旬)</p>	<p>◆生徒指導推進協力員・学校相談員(9市町に9名)、生徒指導スーパーバイザー(高知市に6名)を、生徒指導上の諸問題の対応に苦慮する学校へ派遣</p> <p>◆管内の学校の実態把握に努め、特に支援が必要な学校を選定</p> <p>◆生徒指導スーパーバイザー定例会を開催</p> <p>◆高知市以外の9市町の活動内容と、高知市の活動内容の情報交換</p> <p>◆生徒指導推進協力員・学校相談員連絡協議会を開催(H26.10.10)・情報交換、協議・事業のねらいを再確認した。</p>	<p>生徒指導推進事業による生徒指導推進協力員・学校相談員(5市町に5名)、生徒指導スーパーバイザー(高知市に6名)を学校へ派遣。</p> <p>○進捗状況の確認(5市町、高知市)</p> <p>○生徒指導スーパーバイザー定例会を実施(高知市)</p> <p>○生徒指導推進協力員・学校相談員連絡協議会を実施(10月)</p>		<p>生徒指導推進協力員・学校相談員・生徒指導スーパーバイザーの人材の配置に向けた支援</p> <p>生徒指導推進員・学校相談員・生徒指導スーパーバイザーの専門性の向上及び関係機関との連携強化</p>			<p>○各学校において予防と対処の両面から生徒指導に組織的に取り組む体制が強化されている。</p>
人権教育課	139 150	高知夢いっぱいプロジェクト推進事業 ②未来にかがやく子ども育成型学校連携事業			<p>○2中学校区を推進校とし、小中が共同で生徒指導の視点を位置付けた取組を組織的に展開する。(中学校2校、小学校4校)</p> <p>○小中合同推進会議、合同研修会、合同研究部会、合同授業研究会、合同支援会議を計画的に実施する。</p> <p>○指導主事が推進校を定期的に訪問し、指導助言を行う。</p> <p>○地区別小中学校生徒指導担当者・主事会において、推進校が実践発表を行う。</p> <p>○2年間の指定とし、H27年度2中学校区、H28年度5中学校区、H29年度6中学校区を指定する。</p>		<p>新規2中学校区を指定(2年間)</p>		<p>指定校での実践を県内の学校へ発信</p> <p>新規3中学校区を指定(2年間)</p>	<p>○児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査において、児童生徒の不登校、暴力行為、中途退学の状況を全国平均まで改善する。</p> <p>○各学校において開発・予防と対処の両面から生徒指導に組織的に取り組む体制が強化されている。</p>
健康長寿政策課	155 160	子どもの健康的な生活習慣支援事業	<p>○教育委員会と連携した健康教育の実施</p> <p>○学校関係者を対象とした研修会の実施</p> <p>○地域の人材育成の推進</p> <p>○推進体制の構築</p>	<p>○小・中・高校生用副読本及びリーフレットを作成し、教材を活用した健康教育を実施</p> <p>○保護者、教職員、児童生徒を対象に、健康的な生活習慣に関する出前講座を実施(計16回)</p> <p>○養護教諭等を対象とした喫煙防止教育研修会(8/20)</p> <p>○保健師等市町村職員、保育園・幼稚園職員等を対象とした子どもの生活習慣づくり研修会の実施(9/5)</p> <p>○高知県健康づくり推進協議会子ども支援専門部会の開催 ・9/16 ・2/13</p>	<p>○教育委員会と連携した健康教育の実施</p> <p>○学校関係者を対象とした研修会の実施</p> <p>○地域の人材育成の推進</p> <p>○推進体制の構築</p>	<p>6月 前年度の進め方 実績報告</p> <p>2月 状況 計画に基づく進捗状況</p> <p>取組</p>	<p>6月 前年度の進め方 実績報告</p> <p>2月 状況 計画に基づく進捗状況</p> <p>取組</p> <p>子ども支援専門部会 第3期高知県健康増進計画「よさこい健康プラン21」の取組</p>	<p>6月 前年度の進め方 実績報告</p> <p>2月 状況 計画に基づく進捗状況</p> <p>取組</p>	<p>第4期に向けた検討及び、改定作業</p> <p>6月 前年度の進め方 実績報告 評価に向けての検討</p> <p>2月 今後の取組説明</p> <p>取組</p>	<p>○子どもの生活スタイル等の調査結果が良くなる。</p> <p>○肥満傾向児割合が減少する。</p>
幼保支援課	159 162	親子支援推進事業 (基本的生活習慣向上事業)			<p>○基本的生活習慣に関するパンフレットの作成・配付</p> <p>○基本的生活習慣に関する講演会</p> <p>○パンフレットの活用についての説明会</p> <p>○基本的生活習慣についての学習会(各園)</p>			<p>基本的生活習慣の向上に関する取組</p>		<p>○保護者が食・睡眠・運動などの基本的生活習慣の重要性について理解を深めることにより、子どもたちの基本的生活習慣の改善が図られる。</p>